

大館市木育推進事業 大館市環境教育・木育プログラム
「カスタネットづくり」



令和6年12月17日開催

～カスタネットづくり～



- 「樹から木へ」：一本のクリの樹がカスタネットになるまでの物語を知る。
- カスタネットづくり：サンドペーパーで削る（素地調整・キズ除去・仕上げ） ⇒ 鋸打ち込み
⇒ 塗装（米油） ⇒ ビーズとゴム紐の取り付け ⇒ 完成 ⇒ 片付け
- カスタネット演奏会：つくったカスタネットを鳴らそう！「大きなクリの樹の下で」

<目的>

- ①木に愛着を持つ
- ②楽器に興味を持つ
- ③つくることを楽しむ
- ④木工道具（サンドペーパー・玄翁・オイル）の使い方を覚える
- ⑤モノを大切に作る気持ちを持つ

～活動のふりかえり～



生きている「樹」からモノとしての「木」へ ⇒「命をいただきます」 ⇒「モノを大切に」

暮らしの中に木でできているモノはたくさんある。そのモノの裏側には樹という生きものの「命」と、関わる人たちの「一生懸命」がある。そういう目に見えない「あたりまえ」に気づくためには、たくさんの体験を通して「あたりまえ」を感じ取る目を養っていくしかない。今回のプログラムは、暮らしの中にある「木」の存在と「モノの大切さ」に気づくきっかけになったのではないかな。

まず大人が「あたりまえ」の大切さにもう一度気づき意識すること。そこから子どもたちに「何に気づいてもらいたいかな」「何を伝えたいかな」、そして子どもたちの「どんな力やどんな心を育みたいかな」という意図や目的がみえてくるのではないかな。